

こんにちは!むとう葉子です



❀『夕暮れ食堂』のお手伝いに行ってきました❀

先日、友人に誘われて、『夕暮れ食堂』(川口市)のお手伝いに行ってきました。『夕暮れ食堂』とは、世にいう『こども食堂』です。

席がないほどの大盛況

メニューは、ゴーヤと竹輪のかき揚げ、こんにゃくとジャガイモの味噌田楽風、冬瓜入りかきたま汁と御飯でした。子供が苦手な食



材ばかりでドキドキしながら、お料理開始!! 約30食、作っている間に学校から帰宅した小学生や中学生がわらわ

らと集まって来ました。

「今日は、何の御飯?」「何か手伝うことはない?」と普段の様子がうかがえます。その

日は子供が多く、小さな子供連れのママ達の席がないほどの大盛況ぶり。

皆で「いただきま〜す!」。黙々と食べ、育ち盛りの男の子はおかわりしていました。

子供の貧困は6人に1人

今、6人に1人は貧困な家庭の子供と言われ、格差社会が子供にまで及んでいることが問題となっています。育ち盛りの子供が必要としていることは、暖かい食事だけでなく、周りとのコミュニケーションも併せて必要に感じました。それは、私達、親世代、また高齢者世代にも同じ事が言えると思います。

『そこに居る、その人の存在を認めたい。』というテーマで、戸田市にも食堂を作りたいと思っています。

楽しかったね!リンゴ狩り



11月3日、恒例のりんご狩り(もちづき地域後援会主催)が行われました。参加者は42人+幼児2人。望月議員もご夫妻で、むとう葉子さんも2人の息子さんを連れて参加。晴天に恵まれ懸念されていた大きな渋滞もなく楽しい一日を過ごしました。来年もぜひご参加ください。参加者の感想をお届けします。次は「餅つき会」12月11日。よろしくお願ひします。

ワイ澄み切った青空の下、真赤なりんご。枝が重そうに



なっている。はしごの上の子ども、重たいりんごの籠を大事そうに運んでくれる子どもたち、そんな姿を見てとても楽しかった。

ひとつ枝から取って手袋で磨いてみたらピカピカに。

一口食べるとパリー、ジューシー、おいしい!バスの中もゲーム、クイズで盛り上がりお土産もついて楽しかった。袋一杯のりんご、重たい袋を持ちながらこんな楽しい



つながりが日頃生活のエネルギーになった。無事帰宅。皆さんお疲れ様でした。(KF)

(次頁下に続きます)



3回目のリンゴ狩り、晴天に恵まれ、1人の怪我人もなく無事成功することが出来ました。プラザ川場(道の駅)でのお買い物、昼食後の入浴、リンゴ狩り、帰りの水沢観音お参り等々盛り沢山でした。たわわに実った4本の木から一斉にもぎ取った感じはいかがでしたか?収穫したリンゴは公平に分配し持ち帰りました。とても美味しいうりんごでした。バス内では、歌あり、クイズあり、空くじなしのあみだクジありの楽しい企画。大人も子ども達も飽きることはない旅でした。企画やリンゴの仕分け等にご尽力下さった皆さんに心より感謝いたします。もちづき地域後援会会長 鈴木隆次



一般のリンゴ狩りは30分で1、2ケもぎ取り食べ放題、そんなに食べられるものではない。この会のリンゴ狩りは、わっさわっさと木一本全部もぎ取りそしてざくざくと袋の中へ、多人数でそれを分ける。この醍醐味は心地よい。昼食は今一つ?の感。車中のイベントは飽きさせない工夫に脱帽!感謝でした (FA)



主人と一緒に3回目の参加。今回は土建の仲間を誘ったというよりも、主婦の会の会議に昨年りんごを差入れた時に「どうして誘ってくれなかったのよ〜!」と言われ、今回ようやく実現したというのが本音です。バスの中で「時間の都合でお風呂に入る時間までは取れない…」と聞き一同ガッカリしていましたが、日頃の行いが良かったのか早めに到着。りんご狩り・お風呂・お買い物と、予定通りに過ごせて満足して貰えた事が一番嬉しかったです! (E.S)



日本共産党

むとう葉子後援会

ニュース

発行

日本共産党
むとう葉子
後援会
Tel・fax
433-5225

◆市議会議員◆
もちづき久晴

生活相談
お気軽に

政治革新の道しるべ
真実つたえ希望をはこぶ
しんぶん
赤旗

日刊紙 3,497円
日曜版 823円

部内資料

梅村 さえこ 駆けある記

宣伝する(左から)むとう市議候補 梅村議員ら11日夕、埼玉県戸田市



「返済なしの奨学金を」 埼玉・戸田 梅村衆院議員ら

梅村さえこ衆院議員は11日夕、埼玉県戸田市のJR戸田公園駅前で、本田哲市議、むとう葉子市議候補、地域の党支部とともに、「返済なしの奨学金の制度をつくりましょう」などと訴えて宣伝しました。県独自の給付型奨学金制度の創設など「党の提案」を載せた青年向けピラを配りながら、給付制奨学金の創設と学費負担軽減を求め

る署名を集めました。冷え込むなか、「月5万円のローンを借りているので大変」という大学1年生の女性らが署名に応じました。宣伝では、党と民青が梅村議員を招いて13日午後2時から県民活動総合センターで開く「『梅ちゃん』今こそ、ガッツリ！ 共産党。』働き・学ぶ 青年の未来を考えるつどい」の案内もしました。



政務活動費の不正取得で12人の議員が辞職したことにともなう富山市議補選(定数13)が11月6日投開票され、日本共産党の小西なおき(71)、吉田おさむ(66)の両氏がともに初当選を果たしました。共産党議員団は現有2人から議席を倍増させ、議案提案権を持つ4人の正式会派となりました。不正追及の先頭に立ってきた共産党に、「不正を徹底的に解明して」「自民党におきゅうをすえて」と党派を超えた期待が寄せられています。

富山市議補選 共産2氏当選 議席倍増で議案提案権 不正解明 市民の期待集める

日本共産党へのお誘い

後援会員のみなさまへ

日本共産党戸田第一支部長 山田鉄雄

私は昨年戦争法案が国会で議論されている時、「このままでは日本は戦争をする国になってしまう」と今まで自分から「日本共産党員」と言わなかったことを反省しました。戦争に反対する市民の先頭に立つ日本共産党、今こそ日本共産党員を表明して頑張ることが自分の人生ではないか、と覚悟を決めました。

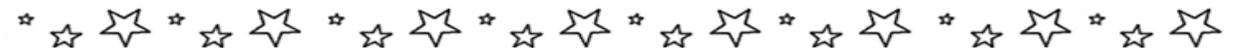
働いている時は、仕事の関係で「日本共産党員ですか？」と宣伝中に聞かれても「後援会員です」と答えていました。その隠したい気持ちが定年後も続き、元気のない生き方をしていました。そして今、「私は日本共産党員です」と自分から話せるようになりました。充実感があります。生きてい

ると感じます。

日本の平和を守り、貧困を減らす運動の先頭に立つ日本共産党。もっと大きくして子供や孫に戦争の悲惨さを味あわせない日本にしたいと考えています。素敵で、有能な仲間がたくさん周りにいて、私は後をついて行くだけです。仲間の温かさを毎日感じています。



後援会のみなさんに訴えます。一緒に日本の平和を守り育てるために、貧困や、働いても生活が大変な格差社会を改善するために、日本共産党に入ってください。日本共産党はあったかい党です。共に頑張りませんか？ぜひ考えてみてください。



聞いて、きいて

じえんだーの話⑥-2 T.M 「ノーベル賞 ~女性科学者」

一方、ノーベル賞もまた、女性科学者にとって狭き門である。キュリー夫人という有名人はいるにせよ、そしてキュリー夫人の娘イレーヌもノーベル賞を受賞しているけれども、やはり受賞者には圧倒的に男性が多い、というのが現実である。周期表109番目の元素は、ユダヤ人の女性科学者リーゼ・マイトナーにちなんでマイトネリウムと命名されているが、彼女は十分にノーベル賞に値すると言われていたにもかかわらず、受賞していない。彼女の共同研究者

はその研究テーマでノーベル賞を受賞しているのに、である。他にも何人かそういう人はいるが、歴史に埋もれて、名の残っていない人もいるかもしれない。かつては女性科学者が男性名で研究を発表していた時代さえあったのだ。現在、女性は自分の研究を続けられるようになっているだろうか。そしてその研究は、正当に評価されているだろうか。例えば、女性の高学歴化が進む中で、キャンパスセクハラと呼ばれるような、とんでもない「指導」がまかり通ったりもする。「指導」を断って、指導教官の機嫌を損ねたらその研究室を続けるのは難しいだろう。研究以前の問題で、まだまだ、いろいろと課題は多そうである。

「じえんだーの話」は今号でお終いです。「聞いて、聞いて」にどうか、どなたでも自由に投稿してください。

梅村さんは、蕨市在住の衆議院議員。先日の「むとう葉子さんを囲む会」にも駆けつけてくださいました。次期衆議院議員選挙の埼玉15区と比例区(北関東ブロック)の予定候補(重複)として、毎日忙しく飛び回っています。むとう葉子さんとの連名ポスター(右)がご近所に張り出されました。上の記事はしんぶん赤旗(11/13)から転載です。

豊かな財政を
くらしに
生かす

むとう 葉子
福祉子育て応援室長

梅村 さえこ
衆議院議員

戦争する国づくり
原発再稼働

日本共産党